にんちしょう

認知症とは



認知症の定義

脳の病気によって脳神経細胞が減ったりなくなったりすることで
一旦正常に発達し普通に機能していた知能(認知機能)が低下し、
これまでできていた日常生活・社会生活に支障をきたす状態のこと。
※意識障害・精神疾患は除く

認知症を一言で説明すると
「知能低下を基盤とした生活障害である」といえます

脳のはたらき

脳は私達のあらゆる機能・活動をコントロールしている司令塔です。
そのため脳の病気になると、その部位が司る機能が低下し症状が
現れます。人によって症状や程度が異なるのはこのためです。

前頭葉
運動　意欲　コントロール

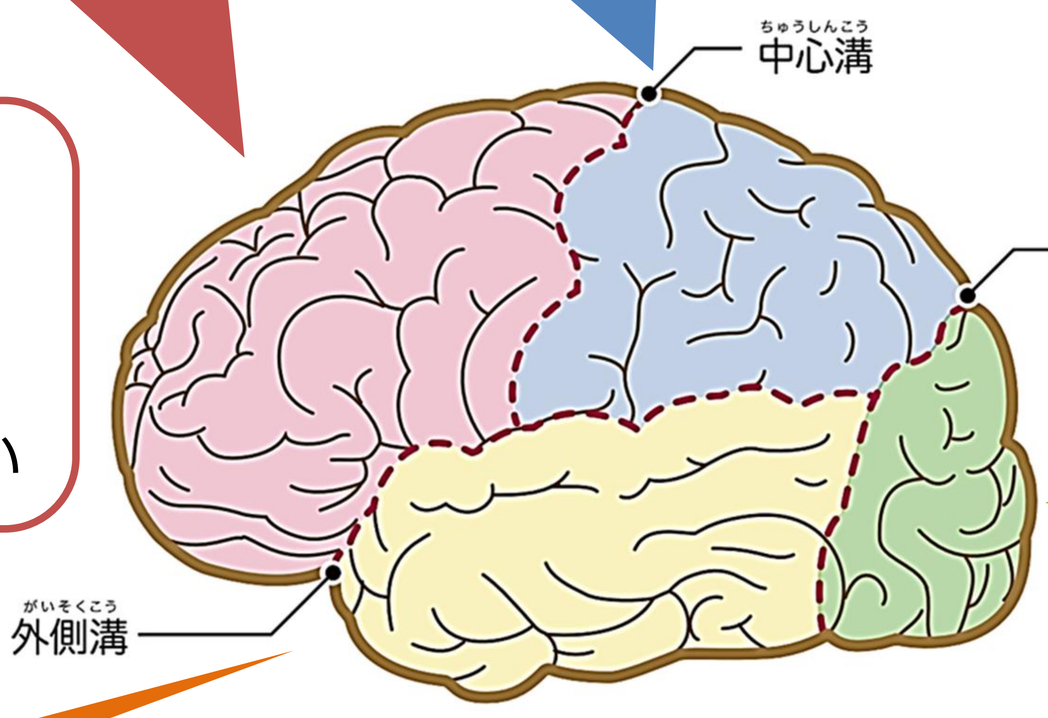
認知症に　なると

意欲低下
無関心
注意力低下
段取りが悪い
うまく喋れない

頭頂葉
感覚　空間の認識

認知症に　なると

道に迷う・徘徊
服が着れない
読み書きや
計算ができない



後頭葉
視覚

認知症に　なると

うまく視えない
視野が欠ける
幻視・幻覚

側頭葉
記憶　言語理解

認知症に　なると

ものわすれ
言葉の意味が分からない

川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター